

○ 今年度の弓削中学校の教育活動で、「良いと思われるところ」がありましたらお聞かせください。

- 部活動以外の課外活動（稲作や筋トレ、釣りなど）がよかったです。
□ 有志の活動ではありましたが、新たな生徒との関わりが持てて活動も楽しかったです。
- 生徒会の皆さんが企画してくれたイベントが楽しかったようです。
□ 新しい試みがあり、頼もしさを感じています。生徒会の皆さんご苦労様でした。
- みんなが楽しく学校生活を送れるようにと考えてくれたこと、親としても嬉しかったです。
□ 単なる楽しさだけではなく、活動の成果が求められることとしてやってきました。
- バスケ部で、外部の先生から指導を受ける機会をつくっていただき感謝したいです。部活動通信に書かれた教頭先生の熱い思い、生徒のために日々努力されている阿部先生の姿に感激しました。いつもありがとうございます。
□ 専門でない部活動を指導するとなるととても大変ですが、熱意を感じてもらえたことは顧問としてもうれしいはずです。今後も外部の指導者に声を掛けてみます。
- コロナ禍でいろいろ大変なところ、できる範囲で精一杯行事をしていただき、ありがとうございました。子どもたちも良い思い出ができたと思います。先生方のおかげです。
□ 十分だとは思ってはいませんが、まずは生徒のことを考えて、できることをやってこれたかなと思っています。多くの方にそう思っただけのように今後も知恵を出し合います。
- ろ漕ぎ大会、駅伝部、文化祭のトーンチャイムや有志発表など、少人数でも様々な活動に挑戦する機会を与えてくださっていること。（先生、生徒の負担は少し気になりますが）
□ 生徒の良さを少しでも発揮できる場を設けることは大切なことです。少人数ながらも生徒たちの頑張りに逆に救われたと思っています。ありがたいことです。
- ホームページでの子どもたちの様子の発信や校長先生の便り、弓削中だよりでの各先生方のメッセージなど、学校の様子や先生の人柄を知る機会、文化祭での学芸部の作品のバザーなど、子どもたちの活動との接点があることはとてもいいので、そういう点をこれからも大事にしてほしい。
□ コロナ禍、いろいろな人との関わりが制限される中においても、教師と生徒との関わりは絶えることはないはず。もっと両者との信頼関係を構築させながら共に学校生活を楽しみたいです。また、来年度こそ、保護者の皆さんともレクバレーなどの活動が再開されて共に楽しめることを願っています。
- 先生方が生徒と一緒に何かを楽しんだり、生徒のいいところをほめたりしたときは、生徒がとてもうれしそうな顔をしているので、そういう機会もまた大事にしてほしい。
□ いつになってもほめてもらえることは、嬉しいものです。一人一人の良さを認め、ほめて、育てていけるように頑張ります。
- 去年に引き続きコロナの影響は多々ありましたが、ろ漕ぎ大会や運動会、文化祭と工夫を凝らして行われていたように思います。
□ 昨年度の反省を踏まえて、今年度の行事の在り方を工夫してきました。まだまだ課題はありますが、生徒会の新たな取組もあり、より盛り上げてもらいました。

- いつも対応していただきありがとうございます。今年度に入り、校内で先生と生徒が談笑する姿が増えたと思います。過去の評価アンケートで指摘されていた「教員と生徒の関係性」の課題への努力を感じます。
- **少しでも教員と生徒とのより良い関係性がみられたことは嬉しいです。そう感じていただけたこともありがたく思います。**

- 今年度より、支援員の増員や医療機関による相談窓口を設けるといった取組に感謝しています。
- **上島町教育委員会の一押しもあり、実現できたことを学校としてもありがたく思っています。何か相談することがありましたら、ご連絡ください。**

- マチコミの活用やアンケートのオンライン回答など、メディアを活用した情報発信について、好感と将来性を感じます。集計にかかる手間と時間の軽減やスピード感のあるやりとりなどのメリットに期待する一方で、手書きにも対応するといった配慮も素晴らしいと思います。
- **ありがたいお言葉です。全てをICT機器の活用とはいきません。学校としても保護者の立場からも少しずつデジタル化に移行できたらなと思っています。**

- 学校行事（運動会や文化祭）への生徒の取組に対する教職員の協力体制。
- **生徒案の全てを受け入れたり支援したりすることはできませんが、それでも生徒の意見は教職員内でも検討し共有してきました。今後も学校行事の充実のために、できることから取り組んでいきます。**

- 生徒会長のご両親が熱心で、幅広い人脈を持ち、アイデアや知識・技術を生かし、学校、教育委員会にも怯まず異端児精神で弓削中学校を盛り上げてくれたことに感謝いたします。
- **学校としてもいろいろと支援していただきました。多面的・多角的に物事をとらえ、新しい風を吹かせていただいたと思っています。**

- 少ない人数なので、先生と生徒の距離が近く、家で子どもから先生の話がよく出ます。こちらも安心できます。
- **そう言っていただけると嬉しいです。何よりお子さんが家に帰って学校のことを話題にできる家庭環境もいいなと思います。人との良い関係づくりが一番の安心につながることを念頭において、今後も頑張ります。**

● 今年度の弓削中学校の教育活動で、「改善したら良いと思われるところ」がありましたら具体的にその手立てをお答えください。（◇：校長からの回答）

- 行事の日程が急に変更となると、仕事の休みを取りづらくなると思います。
- ◇ 急な変更や連絡が遅くなったことでご迷惑をおかけして申し訳ございません。コロナ禍での活動を実施するとなると実施方法の変更などで時間が掛かることがあります。ですが特に時期の変更はできるだけ早く判断して連絡するように努めます。

- 先生方の意見が統一されていないため、子どもたちが戸惑うことが多々あります。
- ◇ 教職員での共通理解は心得ていますが、先に個人の見解で即答し、再度、職員会等で変更になったのではないかと思います。今以上に情報交換を密にして共通意識を図ります。

- 今年のPTAからのアンケートで、任意でしたが、携帯番号、アドレス、LINE IDを記入する所がありました。使用目的、管理の仕方が不明瞭なのに任意とはいえ、たくさんの個人情報を入力させるのはよくないと思います。それと、「弓削中学校PTA会長」という名のもといろいろな活動をされていますが、中学校としての活動でしょうか。それとも個人的な活動でしょうか。お知らせが学校で配られるため、中学校（PTA）の行事と勘違いされている方がいるみたいです。その辺りをはっきりさせた方がいいと思います。よろしくお願いします。
- ◇ アンケートの実施については、マチコミなど公的なものを使ってやっていくようにします。また、PTA会長さんの名前を出ているものは、学校としての活動のほか、有志での内容にも学校が確認した上で配布をしています。（ただし、全てにおいて学校が協同しているわけではありません。）
- 先生方お一人お一人は熱心で、それぞれにそれぞれの素晴らしいところがあるように感じており、感謝しています。ただ学校という組織となった時に、生徒の可能性にふたをしてしまったり、心の自由を奪ってしまっているように感じてしまうところがあります。たとえば、自主性、主体性を謳いながらも、まさに生徒たちの考え準備した主体的な学校生活改善のアクションを、準備・計画の段階において随時報告していたにも関わらず、最終段階で、納得できる説明や十分な対話の機会も得られないまま却下されたことがあって、生徒が学校に対する不信感や、チャレンジすることに対する虚しさを抱いたという話を聞きました。大変さみしいことですが、これが今の学校環境の現実だと感じました。
- ◇ 生徒の意見の全てを生かせなかったことはありました。最終的には、校長が判断しての結果だとお考えください。生徒みんなが望んでいることなのか、時間や労力など負担が増すことはないかなど、総合的にみての判断です。
- 先生方は何かと多様な諸業務でお忙しいようで、なかなか受け入れるゆとりがないことが大きいと思います。ただ、やはりまず一義的には、先生は生徒の可能性の芽を見付け、それを伸ばす応援者であり、そばに寄り添う伴走者であってほしい。少人数の学校であることは、そのためには大変有利であると思います。負担を増やさないために（むしろ減らすために）、逆にそれ以外の業務は勇気をもって思い切って減らす方針を打ち出されてもよいのでは。せっかく地域に開かれた学校を謳われているのであるから、地域を大いに活用されたら良いと思う。もちろん、これまでの画一的な価値体系の社会が、多様で、ボーダーレスで、変化が早く、予測不能な形に急激に変動している、まさに今が過渡期であるので、これは先生方だけに責任を押し付けてよいわけではなく、社会全体で協力して「子どもたちの健全な成長」を第一に考える学校づくりをしなくてはならないと感じるところです。
- ◇ コミュニティ・スクールを推奨していることから、ぜひ地域の人的・物的資源も活用していきたいです。力をお借りしたいです。
- 進路相談をもう少し成績にあった内容で進めてほしい。
- ◇ 個々の進路相談であれば、成績を加味した内容で行っているはずですが、学校の情報を入手しながら指導に生かしていきます。例えば、先輩や他校などからも情報を得て発信するように努めます。
- 生徒らが考え、出した案には、先生方にとって未熟さを感じることはあると思いますが、生徒らが納得いく説明をしていただけたらと思うような出来事がありました。（掃除の縦割り班案の件）
- ◇ 縦割りでの活動の成果を考えると清掃には、そこまで必要かどうかで判断しました。上級生が下級生をリードすることも必要ですが、同学年でリーダーシップを育成することも大切だと考えています。

- 多様性の捉え方やネットリテラシー、学校生活に関わる権利と法律（いじめや情報の扱いについてなど）について現代社会に必要な実践的な教育を取り入れてほしいと思います
理由：現代社会に必要な知識を正しく学び、行動してほしいと願い家庭でも取り組んでいます、専門的な知識を正しく伝えることが難しいため。
対策：県の人材派遣事業やコミュニティ・スクールの地域ネットワークを利用し、専門家による教育を受けることはできないでしょうか。
- ◇ 専門的な知識を有するお声は大切だと考えます。今後の教育活動に専門家を生かせるように努めます。今年度は、オンライン形式ながらも様々な分野の専門家から話を聞く機会を得ました。引き続き可能な方法で、必要に応じて機会を設けます。
- 進路に関わるスケジュールに忙しさを感じます。日程に少し余裕を持たせることはできないでしょうか。
理由：願書受付が年内の場合や各種申請の締切りが年明けすぐなど、書類の準備に忙しい場合があります。（奨学金申請する場合は特に）また、面接準備が必要な生徒には余裕を持って対応してほしいため、スケジュール調整を希望します。
対策：期末試験の結果を待って懇談を、ということならば後からの配布でも構わないと思います。お忙しい中恐縮ですが、3年生の三者面談と面接練習を、2週間程度早くしてくださると助かります。また、高校も多様化しています。学校の違いや単位取得についてなど、高校の基礎知識を2年生の頃から行くと、生徒の理解も進むのではないのでしょうか。
- ◇ 懇談は、他の行事を見て、可能な範囲で考えてみますが、兄弟姉妹がいるところ、お仕事を休まれることを考え、小中とも時期を合わせるようにしています。個人的に早い方が良いなら個々に対応できるようには努めてみます。面接練習は早めることはできます。学校説明会も3年生だけでなく、2年生も参加できるようにしていましたが、コロナの関係で3年生のみにしました。2年生の進路指導の内容についても見直しを図ります。
- 学校のルール（校則や授業時間、生活ルールなど）について、生徒と保護者に分かりやすい形で情報発信することはできないでしょうか。
理由：小学校と中学校では学校内のルールがかなり変わるため、親子で変化に戸惑うことがあります。また、そうしたルールを家庭で確認したい時、情報を手に入れることが難しいと感じます。
対策：HPやマチコミを活用して情報を共有することはできないでしょうか。入学前から様々な情報を得ることで準備ができると、中1ギャップ対策にもつながるのではないのでしょうか。オンラインでの校則共有が難しいようでしたら、入学前説明会の際にもう少し詳しく説明していただけるとありがたく思います。
- ◇ 具体的に何を知りたいのか、事前に聞いて返答できればと思います。入学前説明会の際にもう少し詳しくかつ分かりやすく説明できるようにします。
- 校訓や学校経営方針に掲げられている「自主性」を育て「一人一人の可能性を広げる学校」に近づけるため、生徒に対して指導だけでなく対話ができているでしょうか。
理由：今年度、改善が見られた取組を、単年度で終わらせず継続してほしいと思います。
対策：生徒が先生に相談できる環境を整える。意見を真摯に聞いてもらえた時の充実感や達成感、信頼とモチベーションにつながります。生徒会などで上がってきた生徒の意見を大切に協議し、妥協案を出しながら理解し合えるまで丁寧に話し合う機会を積極的に持っていただきたいと思います。お忙しい中ではあると思いますが、ご検討よろしく願いいたします。
- ◇ 今年度の取組を単年度で終わらせるつもりはありません。生徒会の活動に工夫が見られたように、下級生が引き継いでくれることや、新たな取組を一緒に考えたいと思います。ただ、生徒の負担や本校教員の意見等を踏まえて判断しながら進めていきます。
- 性教育が遅いと思います。（講演会等2年、3年を対象に年1回開催してほしい。）
- ◇ 発達段階に応じて、見直していきます。また、専門機関とも連携して講演ができるようにしていきます。

- 上島町にある小学校、中学校、高校、商船など教育関係者と関わり協力し、上島町の人材教育に熱心になってほしい。縦の組織と横の組織のつながりをしっかりと固めてほしい。
- ◇ つながりは大切だと考えます。この2年間は、十分に連携が図れませんでした。すみません。
- 運動会など開催してもらえて嬉しかったけど運動会での客席が見えにくかった。遠くて誰か分からなかったしダンスなど横側からは見にくかったので改善してもらえると嬉しいです。
- ◇ コロナ禍において、昨年度と大きく変更し、できる限りの工夫はしたつもりでしたが、実施後の反省点で、保護者の立場でもっと考えられることはなかったかという意見もありました。来年度は課題を改善した取組になるように努めます。

様々な貴重なご意見ありがとうございました。

良いと思われる意見は、教職員の励みとなります。

改善点は改めて反省材料として振り返る機会ととらえ、対応策のご意見も参考にしながら、期待に答えられるように努めていきたいと思えます。

今後ともよろしく願いいたします。